

**製品名: TIRAP (リン酸化 Tyr86) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05563**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	TIRAP
別名	TIRAP; MAL; Toll/interleukin-1 receptor domain-containing adapter protein; TIR domain-containing adapter protein; Adaptor protein Wyatt; MyD88 adapter-like protein
遺伝子 ID	114609.0
SwissProt ID	P58753
免疫原	抗血清は、ヒト TIRAP の Tyr86 リン酸化部位近傍の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 52-101

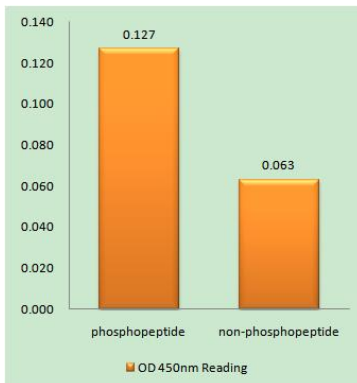
**背景**

自然免疫系は、病原体関連分子パターンを識別する Toll 様受容体 (TLR) を介して微生物病原体を認識します。TLR はそれぞれ異なる病原体関連分子パターンを認識し、すべての TLR はシグナル伝達を担う Toll インターロイキン 1 受容体 (TIR) ドメインを有しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、免疫系の TLR4 シグナル伝達経路に関与する TIR アダプタータンパク質です。NF- $\kappa$ B、MAPK1、MAPK3、JNK を活性化し、サイトカイン分泌と炎症反応を引き起こします。この遺伝子の選択的スプライシングにより、いくつかの転写バリエーションが生じますが、すべてのバリエーションが完全に解明されているわけではありません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 自然免疫応答における TLR4 シグナル伝達経路に関与するアダプター。IRAK2 および TRAF-6 を介して作用し、NF- $\kappa$ B、MAPK1、MAPK3、JNK の活性化を誘導し、サイトカイン分泌と炎症反応を引き起こします。、多型性: TIRAP の遺伝的変異は、侵襲性肺炎球菌感染症、菌血症、マラリア、結核に対する感受性または抵抗性に影響を与える可能性があります。、類似性: 1 つの TIR ドメインを含みます。、サブユニット: ホモ二量体。MyD88 とヘテロ二量体も形成します。TLR4 および IRAK2 とそれぞれの TIR ドメインを介して結合します。PKR および TBK1 と結合します。IRAK1 および TLR9 とは相互作用しません。、組織特異性: 肝臓、腎臓、脾臓、骨格筋、心臓で高発現しています。また、末梢白血球、肺、胎盤、小腸、胸腺、結腸、脳でも検出されます。、

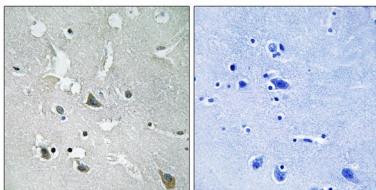
## 研究分野

有料道路のような;

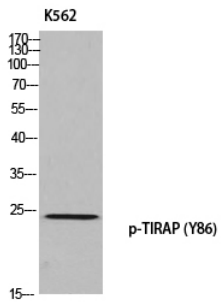
## 画像データ



TIRAP (リン酸化 Tyr86) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



TIRAP (リン酸化 Tyr86) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



p-TIRAP (Y86) 抗体を用いた K562 のウエスタンブロット解析。